

CS-124A

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS-124A 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2008 年 8 月 8 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

- (1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口へ連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。
- (2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。
- (3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

【補足】

- ・ 本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・ 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・ 製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

安全にお使い頂くために

一般的な注意

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。
 - 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
 - パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
 - お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライからすべての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS-124A 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- | | |
|--------------------|----|
| ◆ CS-124A KVM スイッチ | ×1 |
| ◆ 電源アダプタ | ×1 |
| ◆ 英語版ユーザーマニュアル | ×1 |

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。



矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

製品概要

CS-124A は4ポートKVMスイッチです。ユーザーは本製品によって1組のPS/2キーボード、PS/2 マウス、モニタのコンソールで4台のコンピュータを切り替えて操作することが可能です。

コンピュータポートの切替は フロントパネルにあるポート選択ボタンによる切替、キーボードからのホットキー入力による切替、オプションのフットスイッチによる切替と3つの便利な方法をご用意しております。

CS-124A のセットアップは各ケーブルを適切なポートに接続するだけです。非常に簡単で時間もかかりません。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。PS/2 インターフェースに対応した様々な OS で使用することができます。

CS-124A の導入により、接続されたすべてのコンピュータに1組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

- 1) それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
- 2) 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
- 3) 省電力
- 4) コンピュータを操作するたびに移動しなければならないという煩雑さの解消

特長

- ◆ Microsoft Intellimouse 対応 (3 キー)
- ◆ PS/2 マウスの他、シリアルマウスにも対応 (別途変換コネクタが必要です)
- ◆ VGA 解像度ー最大 1,920×1,440、DDC2B 準拠
- ◆ ホットプラグ対応ーCS-124A の電源をシャットダウンせずに、コンピュータの増設・取り外しが可能
- ◆ ポート切替方法ープッシュボタン、ホットキー、フットスイッチ (別売オプション)
- ◆ ポート別に Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の状態を記憶
- ◆ オートスキャンモード対応
- ◆ アクティブなポートのみのスキップ切替が可能
- ◆ ポートの状態を LED 表示
- ◆ カスケード接続による増設が可能
- ◆ ソフトウェア不要の簡単セットアップー専用 KVM ケーブルでコンピュータを接続するだけで使用可能
- ◆ 省コスト・省スペースソリューション
- ◆ 別売のマウント用パネル (型番:2X-004) により、19 インチラックへのマウントが可能

必要システム構成

コンソール

- ◆ 接続するコンピュータの解像度に適した VGA、SVGA またはマルチシンク対応モニター
- ◆ PS/2 マウス
- ◆ PS/2 キーボード

コンピュータ

接続するコンピュータは以下の装置を搭載している必要があります。

- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- ◆ ミニ DIN 6 ピン PS/2 キーボードまたは AT キーボードポート
- ◆ ミニ DIN 6 ピン PS/2 マウスポートまたは DB-9 シリアルマウスポート

ケーブル

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下のケーブルをご使用になることを推奨いたします。

2L-1001P/C(1.8m)

2L-1003P/C(3.0m)

2L-1005P/C(5.0m)

2L-1010P/C(10m)

2L-1020P/C(20m)

2L-5001P/C(1.2m、スリムタイプ)

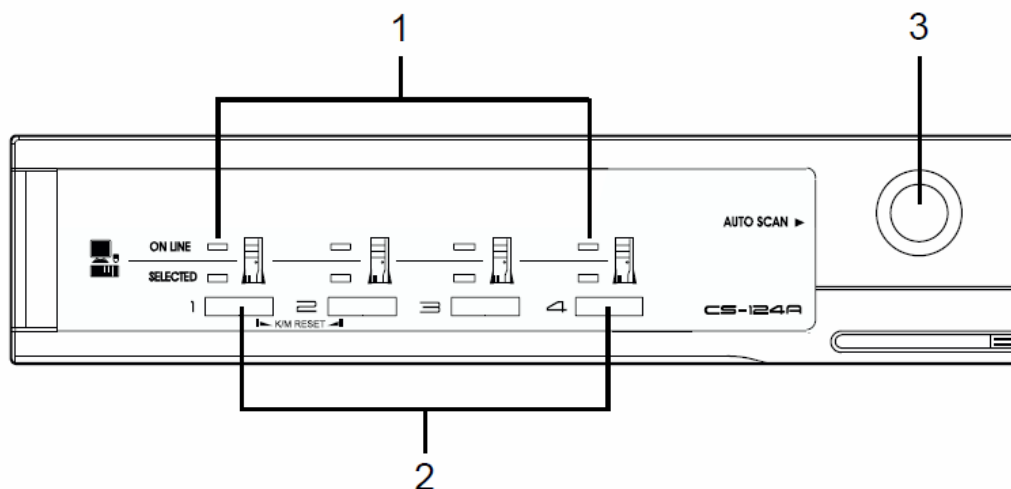
2L-5002P/C(1.8m、スリムタイプ)

2L-5003P/C(3.0m、スリムタイプ)

2L-5005P/C(5.0m、スリムタイプ)

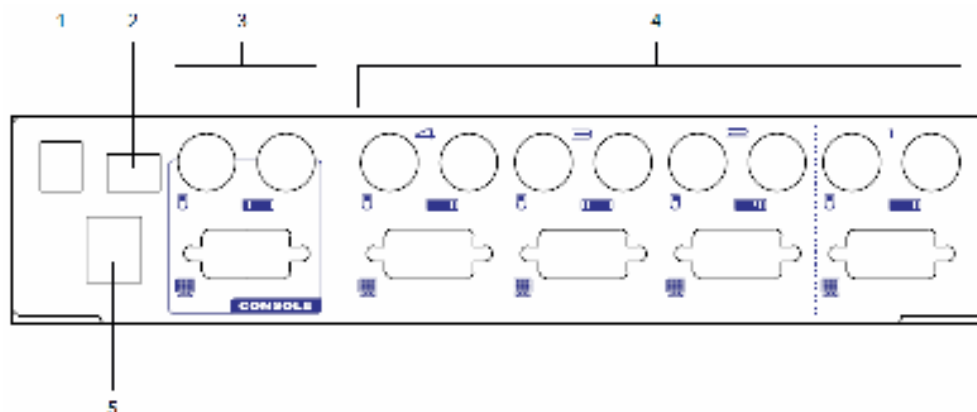
製品各部名称

フロントパネル



No.	名称	説明
1	オンライン/選択 LED	◆ オンライン LED (上部) が点灯しているときは、そのコンピュータが電源オンであることを示しています。 ◆ 選択 LED (下部) が点灯しているときは、そのコンピュータが KVM でコンソールとして選択されていることを示します。LED 表示の詳細については、付録の表をご覧ください。
2	ポート選択ボタン	◆ 各ボタンを押すと対応するポートに接続されたコンピュータに切り替えます。 ◆ キーボード/マウスリセットーキーボード・マウスの動きがおかしい場合は、ポート 1 と 2 を同時に 3 秒以上押してください。キーボードとマウスをリセットします。
3	オートスキャンボタン	◆ このボタンを押すとオートスキャンモードを起動します。オートスキャンをやめるには、このボタンをもう一度押すか、キーボードのスペースキーを押してください。 ◆ ポート選択ボタン 3 と 4 を同時に 5 秒以上押してもオートスキャンが起動します。 ◆ オートスキャンの時間設定は DIP スイッチの設定表をご覧ください。

リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	電源アダプタのケーブル側を接続します。 CS-124A は PS/2 バスパワーで稼働するように設計されていますが、カスケード接続でスイッチを増設する場合は、コンピュータの PS/2 ポートからの給電が不足する場合には、オプションの電源アダプタを接続してください。
2	DIP スイッチ	スイッチ 1 と 2 でスキャン時間を設定します。 スイッチ 3 でホットキーを設定します。 スイッチ 4 でスキップ切替の設定をします。 DIP スイッチの詳細は付録の表をご覧ください。
3	コンソールポート セクション	スイッチを 1 台で使用する場合はキーボード・マウス・モニタ・マイク・スピーカーの各ケーブルを接続します。 カスケード接続を行って子機になっている場合は、親機のコンピュータ側ポートと KVM ケーブルで接続します。
4	コンピュータポート	対応する KVM ケーブルを使用してスイッチとコンピュータを接続します。各ポートは、マイク・スピーカー・KVM のコネクタから構成されています。
5	フットスイッチコネクタ	オプションのフットスイッチを接続します。

ハードウェアセットアップ



今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。

・単体接続

CS-124A を 1 台で使用する場合は下記の手順に従って作業を行ってください。

1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. キーボード、マウス、モニタを本体リアパネルのコンソールポートに接続してください。
3. 対応 KVM ケーブルを使用して、CS-124A リアパネルのコンピュータ側ポートとコンピュータを接続してください。
4. オプションのフットスイッチを使用する場合はここで接続してください。
5. オプションの電源アダプタを使用する場合は、コンセントに電源アダプタを接続してから、CS-124A の電源ジャックにプラグを接続してください。
6. すべてのケーブルを接続したら、コンピュータの電源をオンにしてください。

•2 段階接続

2 段階のカスケード接続で使用する場合は下記の手順に従って作業を行ってください。

注意： カスケード接続には CS-124A 同士を使用してください。

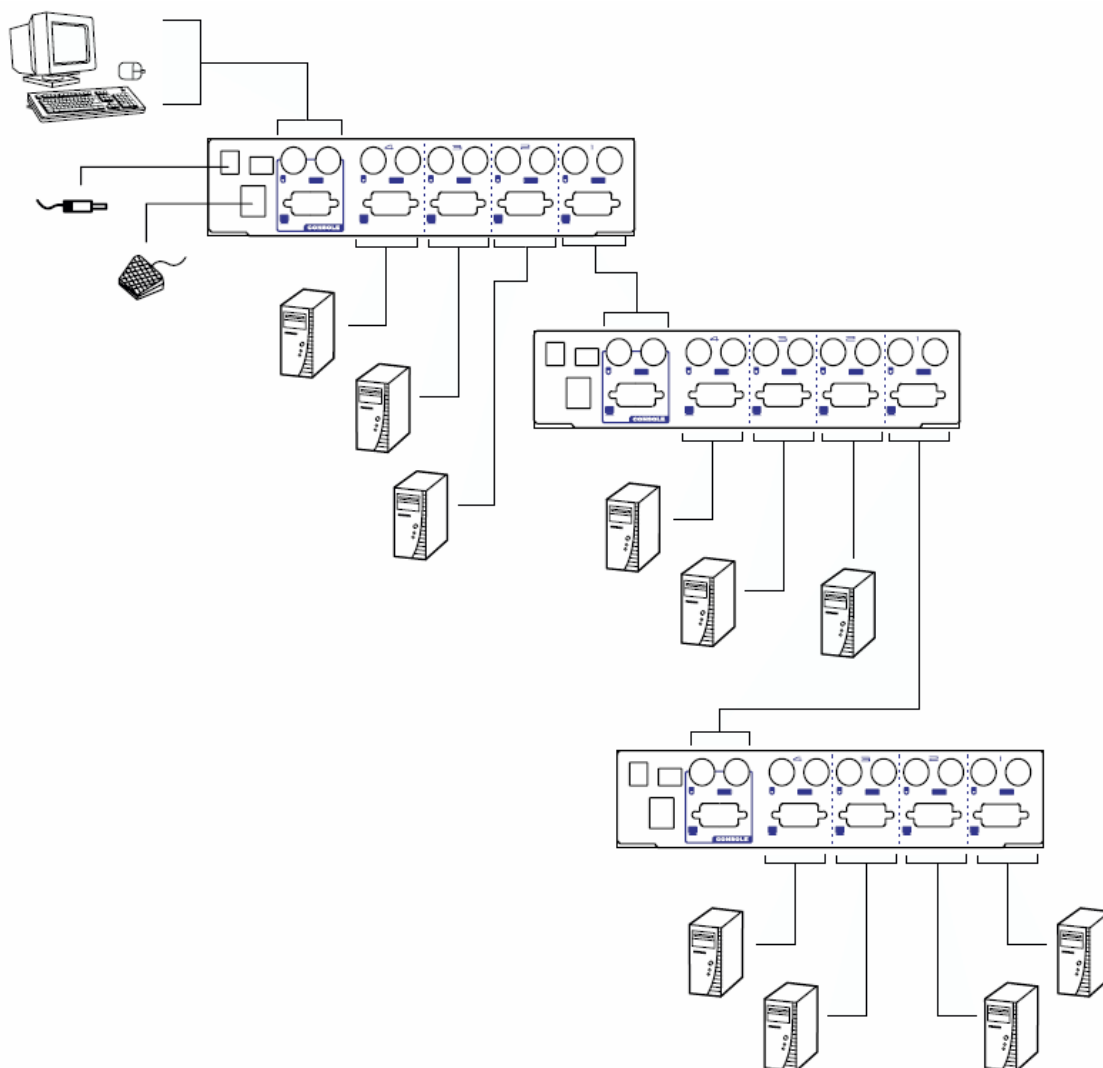
1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. 1 段階目の親機となる CS-124A に、キーボード、マウス、モニタをコンソールとして接続してください。それから電源アダプタを接続してください。
3. 対応 KVM ケーブルを使用して、親機のコンピュータ側ポートと子機のコンソールポートを接続してください。
4. オプションのフットスイッチを使用する場合はここで接続してください。
5. 子機に電源アダプタを接続してください。
6. ステップ 3-5 を繰り返し、必要な台数だけ CS-124A カスケード接続してください。
7. 対応 KVM ケーブルを使用して、CS-124A リアパネルのコンピュータ側ポートとコンピュータを接続してください。
8. すべてのケーブルを接続したら、コンピュータの電源をオンにしてください。

•3 段階接続

3 段階カスケード接続の作業も、基本的に 2 段階カスケード接続の時と同様です。

3 段階のカスケード構成によって、最大 64 台のコンピュータが操作できるようになります。

注意： カスケード接続は最大 3 段階です。



シャットダウンと再起動

CS-124A をシャットダウンする必要がある場合には、下記の手順に従って作業を行ってください。

・シャットダウンする場合

シャットダウンしたい CS-124A に接続されたコンピュータを、CS-124A より先にすべてシャットダウンしてください。CS-124A にオプションの電源アダプタを使用している場合には、電源アダプタを抜いてください。

カスケード接続をしている場合には、シャットダウンする CS-124A に接続された子機 CS-124A に対して、先にシャットダウンの操作を行ってください。

注意:

1. キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。コンピュータから電源が供給されたままになっている場合があります。
2. カスケード接続をしている場合でも、シャットダウンしたい CS-124A の親側（上流側）の CS-124A はシャットダウンする必要はありません。

・再起動する場合

シャットダウン後、再起動は 10 秒以上待ってください。

- a) CS-124A にオプションの電源アダプタを使用している場合、カスケード接続の子機側（下流側）から電源アダプタを接続してください。
- b) CS-124A の電源がオンになったのを確認してから、そのスイッチに接続されたコンピュータの電源をオンにしてください。

ポート切替方法

◆手動(マニュアル)ポート切替

本体側のプッシュボタンまたはオプションのフットスイッチで、コンピュータポートを切り替えることが可能です。

本体フロント側のプッシュボタン: プッシュボタンを押すことにより、対応するポートに接続されたコンピュータに切り替えます。

フットスイッチ: フットスイッチを操作すると、現在選択しているポートから次のポートへ順に(1→2→3→4→1→2→...)切り替えます。

◆ホットキーポート切替

キーボードからのホットキー操作で、CS-124A は下記のような便利な切替操作が可能です。

- ポート ID によるダイレクト切替
- オートスキャンモード
- スキップ切替

ホットキーの操作は、ホットキーモードを起動することから始まります。

ホットキーモード起動キーは、下記の 2 種類があります。

- [左 Alt]+[左 Ctrl]+[左 Shift] または [右 Alt]+[右 Ctrl]+[右 Shift] 同時押し(デフォルト)
- [左 Ctrl]+[右 Ctrl]同時押し

どちらの起動キーを使うかは、DIP スイッチ 3 で設定します。DIP 3 を ON にすると、デフォルト設定になり、OFF にすると代替設定([左 Ctrl]+[右 Ctrl]同時押し)になります。

•ポート ID によるダイレクト切替

コンピュータ側ポートには1～4のポート ID 番号がついています。このポート ID 番号を使用することによって、ダイレクトにそのポートへ切り替えることができます。

1. ホットキーモード起動キーを入力してください。
2. 切り替えたいポートの ID 番号を接続してください。
3. [Enter]キーを押してください。

注意:カスケード接続を行っている場合は、下記のようにポート ID 番号を入力してください。

カスケード 1 段階目スイッチの 2 番ポートに子機が接続され、2 段階目の 3 番ポートのコンピュータを選択する→ポート ID 番号は **23**となります。

•オートスキャンモード

オートスキャンモードは接続されたコンピュータを一定の間隔で自動的に切り替えて表示します。ポートをスキャンしている時間は、DIP スイッチ 1 と 2 で設定します (カスケード接続をしている場合は親機の DIP スイッチ)。詳細は付録の表をご覧ください。

1. ホットキーモード起動キーを入力してください。
2. [0]ゼロを接続してください。
3. [Enter]キーを押してください。

オートスキャンを停止するには、キーボードのスペースキーを押してください。

注意:オートスキャン中は通常のキーボード・マウス操作はできません。操作をする場合は、オートスキャンを停止してください。

•スキップ切替

スキップ切替では、接続されたコンピュータでアクティブなものへダイレクトで切り替える方法です。切替方法はクイックモード、ベーシックモードの2種類あります。

＞クイックモード

クイックモードではホットキーモードを起動せずに切替操作ができます。

- [左 Ctrl]を2度押しすると、現在の選択から前のアクティブなポートへ切り替えます。
- [右 Ctrl]を2度押しすると、現在の選択から次のアクティブなポートへ切り替えます。

クイックモードは便利な操作ですが、コンピュータで使用しているアプリケーションでキー操作で不都合がある場合は、次のベーシックモードをお使いください。

＞ベーシックモード

ベーシックモードはホットキーモードを起動してから、操作を行います。

1. ホットキーモード起動キーを入力してください。
2. [9]を接続してください。
3. [Enter]キーを押してください。

この後スイッチは[左 Shift]を押すと現在の選択から前のアクティブなポートへ、[右 Shift]を押すと現在の選択から次のアクティブなポートへ切り替えるモードになります。

このモードが有効になっている間は、通常のキーボード・マウス操作はできません。操作をする場合は、スペースキーを押してこのモードを停止してください。

付録

DIP スイッチ設定 (デフォルトはすべて ON です。)

•スイッチ 1&2ーオートスキャン時間

スキャン時間	スイッチ 1	スイッチ 2
5	ON	ON
10	OFF	ON
20	ON	OFF
40	OFF	OFF

•スイッチ 3ーホットキーモード起動キー

ON: デフォルト設定

OFF: 代替設定

•スイッチ 4ースキップ切替モード選択

ON: クイックモード

OFF: ベーシックモード

ホットキー一覧表

動作	DIP スイッチ設定	操作
ポート選択	3ON	[Alt]+[Ctrl]+[Shift]→ポート ID→[Enter]
ポート選択	3OFF	[左 Ctrl]+[右 Ctrl]→ポート ID→[Enter]
オートスキャン	3ON	[Alt]+[Ctrl]+[Shift]→[0]→[Enter]
オートスキャン	3OFF	[左 Ctrl]+[右 Ctrl]→[0]→[Enter]
スキップ切替ークイック	4ON	[左 Ctrl] 2 度押しー前へ [右 Ctrl] 2 度押しー次へ
スキップ切替ーベーシック1	3ON/4OFF	[左 Ctrl]+[右 Ctrl]→[9]→[Enter]→ [左 Shift]ー前へ、[右 Shift]ー次へ
スキップ切替ーベーシック2	3OFF/4OFF	[Alt]+[Ctrl]+[Shift]→[9]→[Enter]→ [左 Shift]ー前へ、[右 Shift]ー次へ

LED 表示一覧表

表示	内容
オフ	ポートが選択されていません
点灯	ポートに接続されたコンピュータの電源がオン
点滅 (点灯時間が短く、オフ時間が長い)	カスケードの子機が接続されています
点滅 (点灯時間とオフ時間が同じ)	ポートに接続されたコンピュータの電源がオンで、なおかつ オートスキャンモードでアクセスされています
点滅 (点灯時間が長く、オフ時間が短い)	ポートに接続されたコンピュータの電源がオンで、なおかつ スキップ切替モードでアクセスされています

製品仕様

機能		仕様
コンピュータ接続数		4(カスケードで最大 64)
コンソール接続数		1
コンピュータ側対応 インターフェース	キーボード	PS/2
	マウス	
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	PS/2
	マウス	
ポート選択方法		ホットキー、プッシュボタン、フットスイッチ
コンピュータ側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN 6 ピン メス×1
	マウス	ミニ DIN 6 ピン メス×1
	モニタ	D-sub 15 ピン メス×1
コンソール側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN 6 ピン メス×4
	マウス	ミニ DIN 6 ピン メス×4
	モニタ	D-sub 15 ピン オス×4
スイッチ	ポート選択	プッシュボタン×4
	オートスキャン	プッシュボタン×1
	DIP スイッチ	DIP×4
LED	オンライン	オレンジ×4
	ポート選択	グリーン×4
スキャンインターバル		5、10、20、40 秒
VGA 解像度		最大 1,920×1,440;DDC2B 準拠
ケース材料		メタル
重量		1200g
サイズ(W×D×H)		224×152×52mm

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処
動作がおかしい	電源不足の可能性	オプションの電源アダプタを使用してください。
キーボードが使えない	ケーブル抜け	各ケーブルを確認してください。
	キーボードリセットが必要	キーボードを抜き差ししてみてください。
	オートスキャンまたはスキップ代替モードである	スペースキーを押して通常の操作モードに戻してください。
ホットキーが使えない	選択したポートのコンピュータが電源オフになっている	手動で他のポートに切り替えてください。 他のポートに切り替えてください。
	ホットキー入力が誤っている	操作を確認し正しく入力してください。
	オートスキャンまたはスキップ代替モードである	スペースキーを押して通常の操作モードに戻してください。
マウスが使えない	ケーブル抜け	各ケーブルを確認してください。
	コンピュータ側のシリアルマウスポートに変換アダプタを接続している	ピンアサインメントの関係で、KVM ケーブルのコンピュータ側に PS/2 - シリアル変換アダプタは使用できません。
	マウスリセットが必要	マウスを抜き差ししてみてください。
	CS-124A のリセットが必要	CS-124A を再起動してください。
	マウスがシリアルモードで動作している	マウスの機種によっては動作モードが設定できるものがあります。PS/2 で接続している場合は PS/2 モードで使用してください。
	マウスインストールされている	デバイスマネージャで特殊なマウスインストールされているかどうか確認してください。 CS-124A はマウスメーカー独自のドライバには対応していません。